



2018年度 年主題「イエスさまとともに生きる～愛の交わりの中で」

1・2歳児 11月主題「やってみる」

月のねがい
 ◎秋の実りを神さまに感謝する
 ◎友だちとの遊びの中で、思いや主張を十分に出す
 ◎木の実や枯葉にふれ、深まりゆく秋を楽しむ

3・4・5歳児 11月主題「遊びこむ」

月のねがい
 ◎豊かな秋の実りを喜び、神さまに感謝する
 ◎自然物にふれる中で、五感を通して秋から冬への季節を感じる
 ◎友だちとアイデアを出し合ったり、相談したり、イメージを共有しながら遊びこむようになる
 ◎いろいろな人の働きに関心をもち、身近に感じる

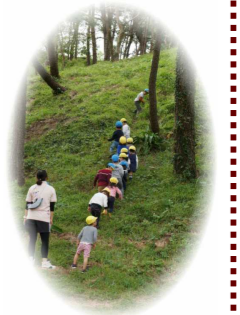
しゅくだい

先日、子どもたちと12月にお店屋さんごっこをすることを話し合い、子どもたちに宿題を2つ出してみました。1つ目は、どんなお店屋さんがいいか考えること。2つ目は、お店屋さんで使えるような空き箱や牛乳パックがあったら、家から持ってきてほしいこと。でも、持ってくる時はちゃんとお母さんやお父さんたちに相談すること。すると、子どもたちは「よーし！わかった！」「探してみる！！」と、やる気満々。

翌日、1つ目の宿題は「クレープやさんがいい」「マックやさんがいいんじゃない？」などなど、みんなやりたいことを考えて伝えてくれました。2つ目の宿題は、この時はまだ、保護者の方にもお知らせを出していなかったのでもちよっと難しいかな…と書いていました。でも！のぞみ組だけでなく、あい組の数名が「先生、箱持ってきた！！」と、ものすごく嬉しそうなお顔を教えてくれ、先生たちもびっくり！！その日、子どもたち同士で、「なんて言ったら、箱持ってきたの？」「お店屋さんで使うから、って言ったよ」「そっか！」と話している姿もありました。

子どもたちのやりたい気持ちと、子どもたちなりに伝えようとする力がついてきているのが見え、とても嬉しく思いました。お知らせもなかったので戸惑われた保護者の方もおられたかと思いますが、これからたまにこんな宿題を出してみようかなと考えておりますので、どうぞお付き合ってくださいね！子どもたちは自分なりの言葉で、一生懸命伝えようと思っております。お忙しいかと思いますが、子どもたちの声に耳を傾けてみてください。さあ、どんなお店屋さんになるのか、楽しみです♪この続きはまた、週報で…！！

主任 松元



今月の聖句 「主はあなたを守るかた。」 詩篇 121:9

まず、詩篇121篇の肝要な句を引用します。
 1節「わたしの助けはどこから来るのか。」2節「私の助けは天地を創られた主のもとから来る。」5節「主はあなたを見守る方。あなたを覆う影。あなたの右にいます方。」7節「主がすべての災いを遠ざけて、あなたを見守り、あなたの魂を見守ってくださるように。」8節「あなたの出で立つのも帰るのも、主が見守ってくださるように。今も、そして永久に。」註「主」とあるのは創造主なる神、あるいは父なる霊の神のこと。
 この詩は私達人間を創造なさった神がどんな時も、どんな状況の時も、見守ってくださるとうたい上げています。
 身体に必要な食物・飲料水を与えてくださいます。病んだ時は癒してくださいます。怪我をしたら回復してくださいます。
 父なる神は体だけでなく、心も見守ってくださいます。悲しむ時、慰めを与えます。平和な時、喜びと感謝を与えます。神の見守りは、片時も私達から離れることなく、この地上の生活ばかりでなく、彼岸の生活も守ってくださいます。感謝です。

前理事長 池田公榮

11月の行事予定

| | |
|--------|----------------------|
| 6日(火) | 誕生会(11・12月-①生まれ) |
| 8日(木) | 弁当の日 |
| 13日(火) | スーパパーティー &おにぎり弁当日 |
| 17日(土) | 入園説明会 |

2019年度入園説明会
 11月17日(土)
 13時半より

1号入園願書受付開始
 12月1日(土)

ご紹介を宜しくお願いします！

12月の行事予定

| | |
|--------|-------------------------|
| 4日(火) | もちつき大会 |
| 6日(木) | クリスマス会予行 |
| 15日(土) | クリスマス会 弁当日 |
| 18日(火) | 誕生会(12-②・1月生まれ) 弁当の日 |
| 19日(水) | 給食バイキング |
| 20日(木) | 終園式(1号午前保育) |



台風と惑わされた十月も過ぎ、晩秋の風の爽やかな肌触りを楽しみ季節になりました。穏やかな日差しが、園庭を駆け回っている子どもたちに優しく降り注いでいます。短い心地よい秋を、身も心も弾ませて共に楽しみたいと思います。

二学期の大きなイベントの一つである運動会の後も、様々な秋の活動を楽しみました。今年初め竹鶴という地区の畑に五感を働かせました。ふわふわのとももきれいな土に触れて五感を働かせました。久しぶりのあつぱららんとこの遠足。思いっきり滑った草スキーは超スリリングでした。この時期は、食べ物が一層美味しく感じられるときもあります。日々の糧に不自由することのない生活は実にありがたいことです。しかし、世界では一分間に十七人の人が飢えが原因で亡くなっています。そのうち十二人は子どもだそうです。世界で生産される穀物は二十三億トン。これは世界のすべての人に必要な量の倍近くあります。しかし、その四十パーセントが、世界人口の五分の一足らずの日本をはじめとする工業先進国によって消費されているようです。その上で、日本では一年間に二、三〇〇万トンも食品が捨てられています。捨てられる農産物の四〇％にあたり、そのうち半分は家庭で捨てられています。余分な買物、食べ物の廃棄、食べ残し、これらを減らす努力。「日々の食事への感謝」「ムダのない調理の工夫。飢餓への思いやり。」これらをする努力。私たちが子どもたちの未来へ残せることを真剣に考えたいものです。

昨年の流行語大賞に輝いた「付度(そんたく)」は、今年も全く衰えを見せず、相変わらずいるようなメディアで見聞きします。それも悪い意味でしか使われていません。もともとこの意味は、広辞苑によると、「他人の心中をおしはかること。推察」とあります。また似たような場面で見られる「斟酌(しんしゃく)」は、「その時の事情や相手の心情などを十分に考慮して、程よくとりはからうこと。」です。メディアが誇張しているような悪いイメージは無く、良く言えば「おもてなしの心」「心配り」の言葉とも言えます。ただし、社会や組織の中で、阿吽(あうん)の呼吸で読まなければならぬ「空気」を創りだしていく表現にもなり得るわけです。これらも大切な心持ちです。が、個人的にも「惻隠(そくいん)の情」を子どもたちには伝えていきたいですね。「惻」は同情し、心を痛める意味。「隠」は深く心を痛める意味。つまり、相手を哀れに思い同情するということになります。紛争や饑餓、災害で苦しんでいる人がどんな気持ちなのか考え、少しだけ寄り添ってあげたい。難しいことですが、人として培われるべき心情だと思えます。

朝夕はめつり肌寒さを感じるこの頃です。突然の発熱や感染症も流行り始めます。クリスマス会に向けて健康第一に鍛錬していきたく思います。なるべく薄着を心がけ、うがいや手洗いの励行を続けて冬に備えてまいりましょう。

園長

心と体に優しい生き方
 ～五感豊かに生きる力～

私達は、五感の情報で生きています。目(視覚)、鼻(嗅覚)、口(味覚)、耳(聴覚)、皮膚(触覚)と、全て頭部に存在し脳に直結しています。五感で「快」を感じると脳内伝達物質の幸せホルモンがたくさん分泌され、幸せに豊かに生きる力になります。乳幼児期の発達には、この五感の感性を育てる時期でもあります。そして五感の情報全身に行き渡り、身体の育ちを作り上げた子どもたちは、ものごとに集中して取り組み、楽しみます。身体につながった心の強さや、心の明るさが育っていくからです。そしてその体験が自分の意志と力を信じる心をも育んでいきます。

そこで、家庭でできる「五感の育み」方法をご紹介します。楽しい方法なので、継続してやっていきましょう。

- 1) 添い寝で読み聞かせ＝感覚の土壌作り
親子一緒に心地よい時間の中で育てていく人間関係が、成長していく子どもの礎となっていきます。
- 2) おんぶタクシー
父母の温もり・香り・呼吸、同じ視線で同じものを見ること・体験すること、揺れ・傾き・重力など五感以上の感覚を体験することができます。
- 3) 足裏マッサージ
足裏は全身に反射しています。そのため末梢神経～全身をトータルなものとして体感でき、身体の育ちを助けます。ついでに「一本橋こちょこちょ」も追加すると良いですよ。

- 4) 一緒にお風呂
お風呂も深い癒し、日本の身体的な触覚文化です。リラックスした雰囲気の中で、子どもの感覚に対して注意深く観察することもできます。
- 5) 子どもの呼吸の深さ(浅さ)を知る
呼吸は心と身体をつなぐもの。呼吸になっていないかな？呼吸が浅くて緊張状態が続いていないかな？深く呼吸できている時(安心感)はどんな時かな？子どもの呼吸質を知りましょう。お風呂等でゆっくり数のカウントをするだけでも呼吸を意識することができます。
- 6) 触覚遊び
体の感覚をレベルアップさせます。相撲、キャッチボール(球の速さ・重さ)etc.
- 7) 親子で散歩
親子で互いの興味関心を観察したり話したりすること、四季の移り変わりを五感で感じること、月や星を眺めてこの地球に生きていることを感じるなど、五感を総動員させて親子の相互理解を深め、絆を深め、感性が豊かに育まれます。

参考書籍:「五感力」を育てる
 木口屋(心理士)

